

文部科学大臣賞

社会教育部門

「ネットをつなぐ子どもと地域—自然体験『そば作り』を通して—」

愛知県丹羽郡扶桑町教育委員会生涯学習課

〒408-0107 愛知県丹羽郡扶桑町大字高木字稲葉63 <http://www.geocities.co.jp/NatureLand-Sky/4196/>

実践事例報告の概要

小学生を対象とした生涯学習講座の一つとして、自然体験『そば作り』を開催している。そばの種まきから始まり、収穫、石臼による粉ひき、手打ちそば作りを行う。ホームページでは、現在のそば畑の状況や活動の様子を公開し、参加者や家族、地域に発信している。また、防災姉妹都市の福井県美山町の下宇坂小学校とも、そばを通して交流をしており、扶桑町と美山町のそばの生育の違いもネットを通してお互いに比較していく。

実践のねらい

本年度から完全学校週5日制が施行され、土日の小中学生の過ごし方が重要視されてきている。平成8年の中央教育審議会の答申によると、その目的として、「学校・家庭・地域社会が相互に連携しつつ、子どもたちに生活体験、社会体験や自然体験など様々な活動を経験させ、自ら学び、考える力や豊かな人間性などの『生きる力』を育む」とある。

文部科学省のアンケート結果（下）からは、生活体験や自然体験が豊富な子どもほど、道徳観や正義感が身についていることがわかる。キレる子ども、不登校児童・生徒が増加傾向にある昨今、生活体験や自然体験をさせる場面を積極的に取り入れることは、青少年の健全育成のために特に重要である。

そこで、本町では、今年度からの学校週5日制の導入にあわせ、

- 自然・生活体験としての子どもの農業体験
- 子どもからお年寄りまでの世代間の交流
- 子どもと大人をつなぐジュニアリーダーの育成

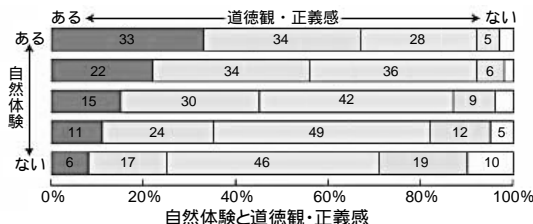
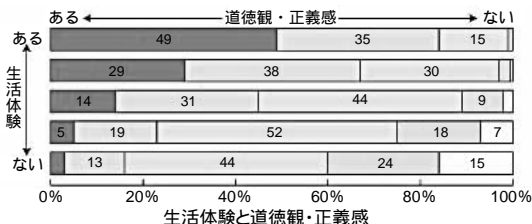
- 防災姉妹都市である福井県美山町との交流
- 町民や広く一般へ活動を知らせるホームページの作成

を組み合わせることによって、扶桑町の活性化につながると考えた。

そのための具体的な方策として、子どもたちにとって新しい体験ができ、短期間で収穫の喜びを味わうことができる農業体験で、お年寄りの指導を受け、文化財として保管してある昔の農機具を使うことができることなどを考慮して、手打ちそばを作ることにした。

この地区では、50年ほど前にはそばを栽培していた農家があったようだが、現在はまったく作られていない。したがって、子どもたちにとっても、大人たちにとっても、そば作りは初めての体験であり、関心がとても高い。また、参加者は、4つの小学校から集まってきた小学3～6年生という異学年集団で、初めて顔を合わせるという子どもたちばかりである。こうした参加者が、そば作りという初めての体験を通して共同作業を行うことは、学校ではできない新しい人間関係づくりができると考えた。

文部省「子どもの体験活動等に関するアンケート調査」(平成10年12月)より



【生活体験】... 「小さい子どもを背負ったり、遊んであげたりしたこと」
「ナイフや包丁で、果物の皮をむいたり、野菜を切ったこと」
【自然体験】... 「チョウやトンボ、バッタなどの昆虫をつかまえたこと」
「海や川で貝を取ったり、魚を釣ったりしたこと」 ほか

体験の有無を5段階で評価

特徴・工夫・努力した点

そばは短期間で成長する植物であるため、日に日に成長する。講座のない時のそばの成長の様子を、参加者の小学生がつかむことは難しい。町民からお借りしたそばの畑は、町の中央部付近にあるものの、遠方の児童にとっては、毎日観察できるという距離ではない。そこで、ホームページを作って、家からでもそば畑の様子をインターネットで知ることができるようにした。このホームページ作りは、次のことを考慮して作った。

(1) そば畑の様子が家にいながらにわかる

そばは約2か月で収穫ができるほど成長が速く、1週間で、様子はずいぶん変わってしまう。自分の育てているそばが、現在どれくらい成長したのかを知ることは、体験活動への意欲づけにもなる。そこで、1週間に1回、そば畑の様子をデジカメで撮影し、どのような変化があったのかをホームページに掲載することにした。

(2) 子どもたちが取り組んでいる活動の様子を家族や地域に知らせることができる

この新しい取り組みは、家族にとっても興味が高く、講座の時には参観者が来るほどである。ホームページに講座の活動の様子を載せることによって、そば作りについてや作業の様子などを、家族の話題の一つとして取り上げてもらうことも期待できる。また、遠く離れた祖父母や親戚、地域住民などにも、自分たちの活動を知らせることができる。

(3) 福井県美山町とそば作りの交流ができる

そばの種を譲り受けたり、手打ちそばの指導をお願いしたりする美山町の方と、そばを通じた情報交換の場を作ることができる。日本海側山間部にある美山町と太平洋側平野部にある扶桑町とでは、同じ種でもそばの成長は違う。そうしたそばの成長の違いと、初めてのそば作りで出てくる疑問を生産地に聞く窓口にすることができる。

実践内容

(1) 事前調査

子どもたちにとって、そばというと山あいの涼しい地方で育つというイメージがあった。実際、調べてみると、そばは荒地でも育つ植物で、肥沃な土地だとかえって大きくなりすぎて倒れてしまうことがわかった。この地区の農業指導員にも指導していただいたが、実際にそばを作っている地区で聞いてみるのが一番よいというアドバイスを受け、本町と防災姉妹都市関係を結んでいる福

井県美山町に行って調査をすることにした。美山町は、町おこしの一環としてそば作りをしており、町民によるそば愛好会ができています。まず、美山町のそば愛好会を訪ねた。そこで、そばの種まきの仕方、特徴、収穫方法などを聞き、手打ちそばの体験を行った。

(2) 地域間交流

そば作りという、本町ではほとんど行われていない体験であるため、育成途中でいろいろな疑問や課題にぶつかるはずである。そこで、防災姉妹都市という関係もあることから、そば作りをきっかけにして、さらに両町の交流を深められないかと考えた。美山町役場を訪れ、今回の企画の趣旨を説明し、協力を要請したところ、快諾していただいた。本町では、小学生が中心となってそば作りを行うため、美山町の小学生とも交流が行えるよう、美山町の小学校長にも協力を依頼したところ、美山町立下宇坂小学校がそばによる交流に協力してくれることになった。7月25日、本町から、そば作りを指導して下さるお年寄りの高雄ボランティアグループ、小学生のお手伝いをする中学生を中心としたジュニアリーダー、子ども会連絡協議会の役員さんたちが、美山町へ事前研修に向かった。美山町では、手打ちそば作りを体験し、下宇坂小学校4、6年生の児童と一緒に、同校に急きょ作っていただいたそば畑にそばの種をまいた。このそば畑の様子は、下宇坂小学校のホームページでも公開されており、定期的にメールでそば畑のデジカメ画像を送っていただいている。

(3) 『そば作り』講座

小学校を通して、下のようなチラシを配布し、町内の小学校3年生以上の参加希望者を募ったと

小学生から中学生まで募集になりましたが、お申込みはご本人様からご参加をお願いします。お申し込みは、お申し込み用紙に記入の上、お申し込み先までお送りください。お申し込みは、お申し込み用紙に記入の上、お申し込み先までお送りください。

1. 研修期間 毎月第1日（土） 9:00～12:00 研修場所は、そば作り体験施設（仮称）
 毎月第2日（土） 9:00～12:00 研修場所は、そば作り体験施設（仮称）
 毎月第3日（土） 9:00～12:00 研修場所は、そば作り体験施設（仮称）
 毎月第4日（土） 9:00～12:00 研修場所は、そば作り体験施設（仮称）
 毎月第5日（土） 9:00～12:00 研修場所は、そば作り体験施設（仮称）
 毎月第6日（土） 9:00～12:00 研修場所は、そば作り体験施設（仮称）
 毎月第7日（土） 9:00～12:00 研修場所は、そば作り体験施設（仮称）
 毎月第8日（土） 9:00～12:00 研修場所は、そば作り体験施設（仮称）
 毎月第9日（土） 9:00～12:00 研修場所は、そば作り体験施設（仮称）
 毎月第10日（土） 9:00～12:00 研修場所は、そば作り体験施設（仮称）
 毎月第11日（土） 9:00～12:00 研修場所は、そば作り体験施設（仮称）
 毎月第12日（土） 9:00～12:00 研修場所は、そば作り体験施設（仮称）

2. 参加費 無料
 3. 申し込み 7月14日（日）までに、下記メールアドレスに電子メールでお申し込みください。
 申し込み先 福井県鯖江市 農業指導員 藤田 誠一 氏
 メールアドレス: maeda@city.sabae.lg.jp

※ 本町のホームページ「自然体験」に掲載されています。
 詳細は、本町のホームページ「自然体験」をご覧ください。
 『自然体験のホームページ』 <http://www.kosei110.jp/Secretland/Sba/1100/>

表1・参加者の内訳

学年	3	4	5	6	合計
男	3	8	5	6	22
女	9	6	4	3	22
合計	12	14	9	9	44

表2・活動予定

回	月	日	曜	時 間	活 動 内 容	集 合 場 所
1	8	3	土	9:00～12:00	事前説明会、グループ作り、看板作り	中央公民館
2	8	17	土	9:00～12:00	そばの種まき	中央公民館
3	10	5	土	13:00～16:00	そばの観察、手入れ	畑
4	10	26	土	10:00～16:00	刈り取り、脱穀、とあうち	畑
5	11	9	土	13:00～16:00	乾燥、臼引き	中央公民館
6	12	1	日	10:00～14:00	そば打ち体験、試食、美山町との交流	中央公民館

ころ、44名の応募があった(表1)。講座は、今年度から完全学校週5日制で休みになった土曜日を中心に表2の日程で行う。

第1回 事前説明会

この日は、顔合わせの日で、自己紹介、そばについての学習会後、グループ作りを行った。グループは、学校、学年ができるだけ分かるように工夫したくじによって8班に分けた。決まったグループごとに、自分たちでグループ名を決め、そば畑に立てる看板作りをした。

第2回 そばの種まき

7月に美山町で学習してきた、高雄ボランティアグループとジュニアリーダーの協力を得て、そばの種まきを行った。4班ずつ、それぞれ「ばらまき法」と「すじまき法」の2通りのまき方をしたが、ばらまき法でまいたところは、スズメやハトに襲われてほとんどの種が食べられてしまった。そのため、再度、そば種を注文し、後日、生涯学習課の職員ですじまき法でまき直した。この模様は、ホームページにも紹介したが、ホームページを見た参加児童から心配の電話があった。

種まき作業の後、図書館のコンピュータ室から、今回のそば作りのホームページを閲覧し、家や学校からでも見られることを子どもたちに紹介した。

第3回 そばの観察、手入れ

そばの花が満開となり、順調にそばは成長している。そばをまいていない通路には、たくさんの雑草が生えているので、除草作業を行い、そばの観察をする。そばの花には2種類あることやどんな昆虫が飛んできているかなどを観察させ、その結果をホームページにも掲載する予定である。

第4回 刈り取り、脱穀

そばを鎌で刈り取り、町の文化財として保管してある「千歯こき」や「とあうち」を使って、昔ながらの農作業を体験する。

第5回 乾燥、臼引き

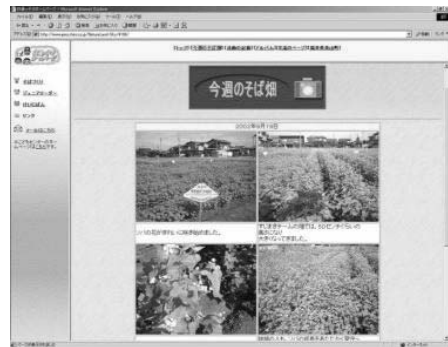
乾燥させたそば種を、文化財として保管してあった石臼を使って粉にひく。

第6回 そば打ち体験、美山町との交流

美山町のそば愛好会の方をお迎えし、自分たち

で作ったそば粉を使い、手打ちそばを作る。町民からも手打ちそば体験希望者を広く募集し、美山町との交流会も行き、活動のまとめをする。

(4) ホームページの作成



上のようなホームページを、無料ホームページサイトに開設した。これは、扶桑町子ども会のホームページの一項目として作ったものである。メニューは、次の表のようになっている。

扶桑っ子のホームページ	そばづくり	トップ
	ジュニアリーダー	今週のそば畑
	けいじばん	活動の記録
	リンク	アルバム
		交流のページ
		福井県美山町

メニューはできるだけ簡潔にし、写真を多く取り入れて、小学生でもわかりやすいホームページになるように心がけた。閲覧者からの意見や感想をもらえるように、メールアドレスや掲示板も掲載した。

更新はできるだけ頻繁に行うようにし、2、3日に1回は新しい情報を入れるようにしている。ホームページをできるだけ多くの方に見てもらえるように、町の広報誌、地域のタウン誌、子どもセンター情報誌にも、ホームページの紹介をし、アドレスを載せてもらった。

<http://www.geocities.co.jp/NatureLand-Sky/4196/>
『扶桑っ子のホームページ』

実践結果

生涯学習の一環として子ども対象の講座を設ける自治体は増えてきている。学校の枠を越えた活動という点から、学校ではできないことや世代を越えた新しい人間関係作りが期待でき、土日の過ごし方の新しい形になっていくことが期待できる。しかし、学校主催でないために、その活動の様子を保護者や地域に知らせることが難しい。そこで、今回のように、生涯学習の内容をホームページにして、広く一般に知らせることは、地域住民だけでなく、他の自治体への参考にもなる。

ホームページを開設したことによって、防災姉妹都市の美山町からは次のようなメールが届いた。

8月6日(火)

暑さ厳しい毎日です。25日にはありがとうございます。子ども達が植えたそばは見事に双葉ができました。29日からポツポツと芽が出てきました。今は青い葉がはっきり見えるまでになりました。これからの成長が楽しみです。

8月26日(月)

お元気でお仕事されていますことと存じます。そばの成長ですが、20日頃、花がさきはじめました。今はかなりの箇所で、きれいな花がさいています。高さは50~60cmになりました。写真をおくります。

9月5日(日)

最近の成長の様子をお知らせします。新学期が始まりましたが、美山町では猛暑が続いています。でも、吹く風はわずかに秋を感じさせます。蕎麦の方は大変順調です。長いものでは1mほどまで成長しました。幹も太いです。そちらの方は一部鳥にやられたようですね。抜けてしまった部分は、種を落とされますと季節的にはまだ大丈夫だと思います。

私の家では、みなさんと同じくらいに種まきしましたが、学校と比べるとまだまだ可愛いものです。皆さんの蕎麦と同じほどの成長だと思えます。水をまくような事はしないほうがいいですね。

また、お便りします。よろしくお願ひします。

また、参加している小学生からは、以下のメールが届いた。

そばの花見たよ

今日の夕方そば畑を見てきました。そばの花が畑一杯に咲いていてきれいでした。収穫するのが楽しみです。(3年男子)

このように、ホームページを作ったことによって、講座のない時にも、そば畑の様子を実際に行こうというきっかけ作りにもなっているし、遠く福井県からも、いろいろな情報がメールで送られてくるようになった。

ホームページを核にして、そこから情報を得て、畑を見に行ったり、メールを送ったりという行動に移すことができ、普段は離ればなれの個々人が、つながりを保つことができている。これは、人間関係が希薄になってきているといわれる現代においては、とても重要なことである。こうしたやり

とりのおかげで、今度は美山町の方から、本町へ小学生が訪問し、そば畑を観察したり、講座参加の小学生と交流会を持つことになっている。

考察(今後の課題)

(1) 町民のIT環境づくり

最近行った町民アンケートの結果では、本町では約70パーセントの家庭が自宅にコンピュータを持っていることがわかった。また、そのうち約72パーセントが、インターネットに接続している。このように、国のIT講習会の成果が確実に現れてきているのは確かである。

しかし、コンピュータやインターネットの普及が、まだまだスタート地点であるために、ホームページアドレスを広報誌に掲載してもなかなか見てももらえなかったり、意見や感想のメールや掲示板への書き込みが少ないなど、インターネットへの積極的な住民の関わりはこれからの課題である。もっと行政が積極的にインターネットを活用して、生活に密接するような情報を流すことが必要である。インターネットを使えば、自分の生活に役に立つ最新の情報が得られるのだという認識を住民が持てるような環境整備が必要である。

(2) ライブビデオ

高速で、常時接続可能なインターネットが、家庭でも手軽に利用できるようになってきた。今回のそば畑の様子も、週に1回、デジタルカメラで撮影した画像を掲載してきたが、本当に受講者が見たいのは、今現在のそば畑の様子である。「夜はどうなっているのか」「雨の中でも大丈夫だろうか」というリアルタイムな情報を送るためには、ライブビデオの設置が必要である。しかし、予算や設置場所などの問題から、今回は実現できなかったが、刻一刻と変化する自然の様子を掲載する以上は、ライブビデオを取り入れたい。

社会教育の場において、子どもたちに体験させられることは、学校よりも広範囲であると思う。それなのに発展していかないのは、その準備が大変であったり、住民の理解が得られないことにある。インターネットを使うことによって、各自治体で行っている取り組みを公開し、情報提供していけば、さらによりよいものにすることができるし、準備も簡単になるであろう。また、インターネットで活動内容を公開すれば、安価にリアルタイムで住民に情報提供ができ、理解が得られると考えられる。